

東京学芸大学 外国人児童生徒教育推進ユニット「多様性が活かせることばの学び」

研修B「幼・小・中・高を結ぶことばの授業」 第3回 2024年8月22日

アイデンティティから考える 自己表現とことばの教育

米本和弘（東京学芸大学 教職大学院）

yonemoto@u-gakugei.ac.jp

本講義の目標

1. アイデンティティとは何か?という点に関して,近年の応用言語学分野の動向に触れながら,理解を深める。
2. 上記のアイデンティティの理解に基づき,特に「自己表現」という点から言語指導・支援の方法について考えられる。

アイデンティティとは...

「そう思う」「そう思わない」を考え、その理由を考えてみてください。

- ① ベトナムから来た子どもはベトナム人としての、中国から来た子どもは中国人としてのアイデンティティが持てるよう支援する必要がある。
- ② アイデンティティとは、中高生のころに確立するもので、教育もそれを後押しする必要がある。

A. そう思う

B. まあそう思う

C. あまりそう思わない

D. そう思わない



学校と外国人児童生徒等のアイデンティティ

日本語指導が必要な外国人児童生徒等が将来への現実的な展望が持てるよう、キャリア教育や相談支援などを包括的に提供することや、子供たちのアイデンティティの確立を支え、自己肯定感を育むとともに、家族関係の形成に資するよう、これまで以上に母語、母文化の学びに対する支援に取り組むことも必要である。

(中央教育審議会, 2021, p.70)

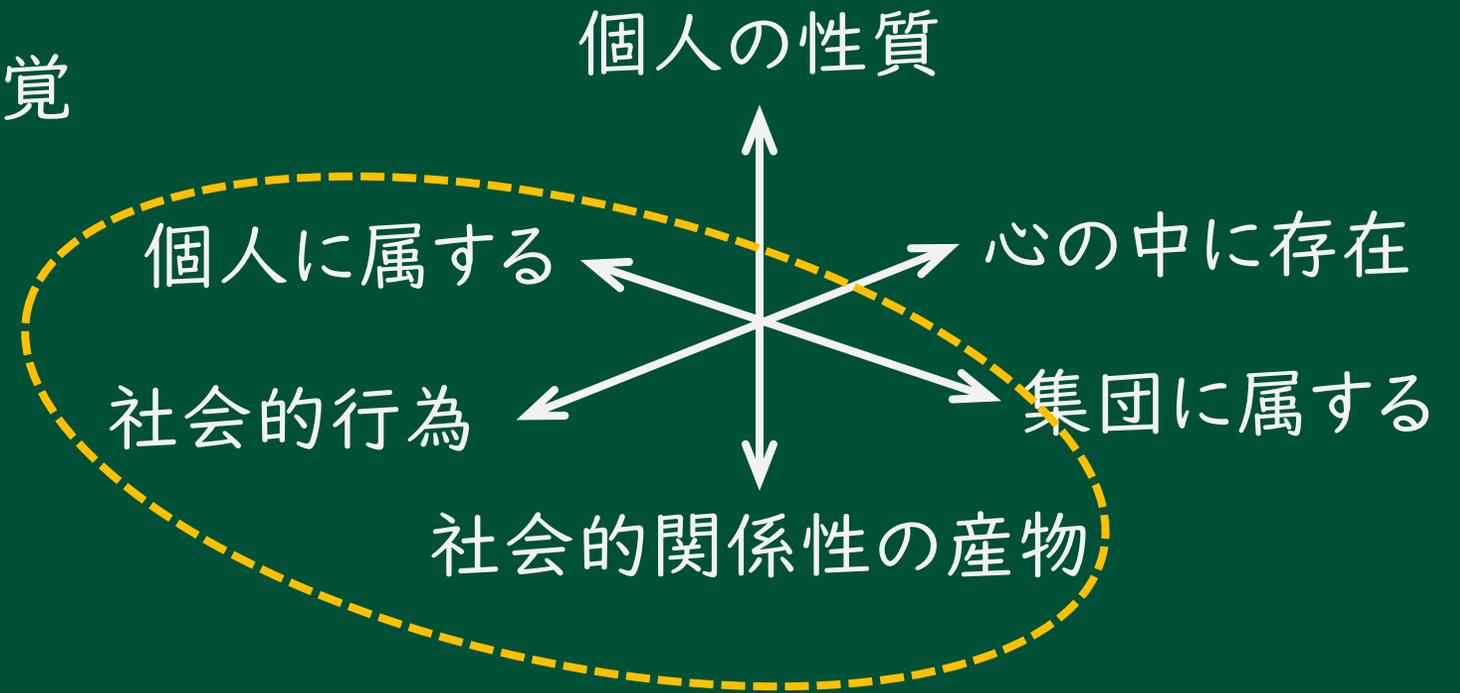


我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、日本人としての美徳やよさを生かし、それらを継承・発展させるための教育を推進する。

(文部科学省, 2023, p.43) 4

アイデンティティとは何か？

「わたし」は何者かという感覚



社会（学校を含む）における他者との関係性を通して作られる、「わたし」は何者かという感覚であり、内面的な感覚だけでなく、外面的にも行動や態度を通して表現される。

子どものことばとアイデンティティに関する疑問

アイデンティティの確立を!
アイデンティティの形成を!

〇〇人だと言えることが
確立なのか?

確立したら、揺るが
ないのか?

心理社会的発達理論 (エリクソン, 1968/2017)

ライフステージ	発達課題 解決—危機
乳児期(～1歳)	信頼—不信 (私は他者を信頼できるか。)
幼児期初期(1～2歳)	自律—恥・疑惑 (私は私でよいのか。)
幼児期(3～6歳)	自主性—罪の意識 (私の言動はよいのか。)
学齢期(7～10歳)	勤勉—劣等感 (私は共同体の中で課題を達成できるか。)
青年期(11～19歳)	アイデンティティー—混乱 (私は何者か、何者になれるのか。)
成人期初期(20～44歳)	親密—孤立 (私は他者を愛することができるのか。)
成人期(45～64歳)	ジェネラティビティー—停滞 (私は人生に価値を見出せるのか。)
老年期(65歳～)	インテグリティ—絶望 (私は私でいてよかったのか。)

アイデンティティとは確立するのか？

- 過去や未来との関係
「想像の共同体」「架空の共同体」



子どものことばとアイデンティティに関する疑問

アイデンティティの確立を!
アイデンティティの形成を!

目指すべきアイデンティティは
教員が決めるのか?

個人が願えば、そのアイデン
ティティは実現するのか?

アイデンティティを決めるのは誰か？

エージェンシー (agency, 行為主体性)

- 社会的な文脈の中で、変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる能力 (文部科学省, 2023, p.11)
- 個人がある社会状況の中で行動を起こすことができる能力 (久保田, 2015, p.xi)

アイデンティティは「わたし」が決められるか？

特に自分の気持ちを表現する言葉が難しく、日本語も中途半端、英語も中途半端、という感じで結構苦労しました。



すごく中途半端なかんじだなと自分で思いながら、でもそこまで日本語勉強する気も自分にないかな~とったりします。コンプレックスと「まあいいや」の二つの気持ちがあるかんじです。



アイデンティティは「わたし」が決められるか？

特に自分の気持ちを表現する言葉が難しく、日本語も中途半端、英語も中途半端 という感じで結構苦悶

すごく中途半端なかんじだなと自分で思いながら、でもそこまで日本語勉強する気も自分にないかな~とったりします。コンプレックスと「まあいいや」の二つの気持ちがあふさかムゾオ

大学を卒業する頃な、やっぱり日本語は日本人より差があるやん。それも中途半端やし、中国語もだんだん忘れていくから、中途半端やねん。英語もな、完璧に習ってないから、それも中途半端やねん。三ヶ国語できても中途半端やねん。
(米本, 2008, p.241)



自己表現とことばの教育 ①

学習におけるアイデンティティへの視点

- 私たちは複数のアイデンティティを持つことができる。
- 私たちのアイデンティティは時間や場所によって変わる。

単一性
不変性

社会

個人

複数性
可変性

教育の対象

- 個人にのみ焦点を当てるだけでは不十分となる可能性がある。

自己表現とことばの教育 ②

(学習のねらい)

「わたし」について探究し、それを他者に伝えられる。

「わたし」の考えや思いを伝えるために、必要な語彙や表現が選択できる。

学習で扱われる語彙や表現を使って、「わたし」について伝えられる。

学習で扱われる語彙や表現がわかる。

(教員の役割)

「わたし」について理解が深められる機会を作る。

「わたし」の考えや思いが表出できる機会を作る。

学習項目の中で「わたし」について伝える機会を作る。

学習に必要な言語項目を提示し、練習の機会を作る。

社会と「わたし」のことは

セカイの日本語～みんなの声～

Global Network Project ホーム プロジェクトについて リソース 実践 お問い合わせ ENGLISH

セカイの日本語
～みんなの声～
Global Network Project
カナダ日本語教育振興会・ヨーロッパ日本語教師会

色々な言語や文化にルーツを持っている人、日本語を学んでいる人、日本で働く人々、日本に興味のある人たち…。「日本語=日本人」ではなく、私たちの周りには様々な「日本語者」がいます。しかし、そのような多様な日本語使用者は社会において、どの程度意識され、またどのように認識されているでしょうか。本プロジェクトでは、多様な日本語使用者の「声」を集め、日本語にまつわる様々な考え方や経験について理解を促進することを目的としています。

MORE →

Global Network Project ホーム プロジェクトについて リソース 実践 お問い合わせ ENGLISH

日本語話者のストーリー

自分から話み出さないとけない。
日本のみなさん、恥ずかしがらないで！
日本語で困ったのはバーに行った時
今、ちょっとできるですから、私、(英語より)日本語のほうが好き。
私の怒ることが全然口から出ていない。それは、とてもストレスです。
留学生たちにはぎっかけが必要。
帰国子女だった私にできること
日本ではこんなときどうしますか？ どうして？
ただ聞くとは信用するのが大事です。
21世紀はマルチリンガルが当たり前にしてほしい
どの国が本当に私に似合うかなどか、Belong するかなって。私今日までまだ聞いていますけど。
イタリアでは義務教育から多言語環境で育ちます。

キーワード検索
日本語 ENGLISH
あ アイデンティティ アルバイト
か 語に似合わない日本語 カナダ
さ サバイバル 差別 仕事 就職
た 多言語 大学生 読者 中国
な 内容の重要性 日本 日本語
は 読者 恥ずかしい
ま ミャンマー 無関心
や やる気を失う
ら 来日後の変化 来日の理由

アイデンティティとは...

「そう思う」「そう思わない」を考え、その理由を考えてみてください。

- ① ベトナムから来た子どもはベトナム人としての、中国から来た子どもは中国人としてのアイデンティティが持てるよう支援する必要がある。
- ② アイデンティティとは、中高生のころに確立するもので、教育もそれを後押しする必要がある。

A. そう思う

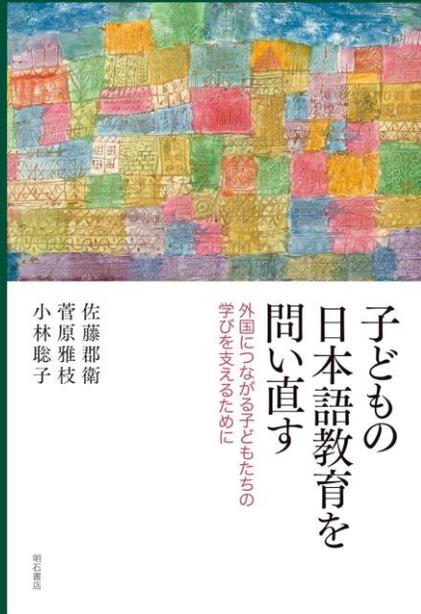
B. まあそう思う

C. あまりそう思わない

D. そう思わない



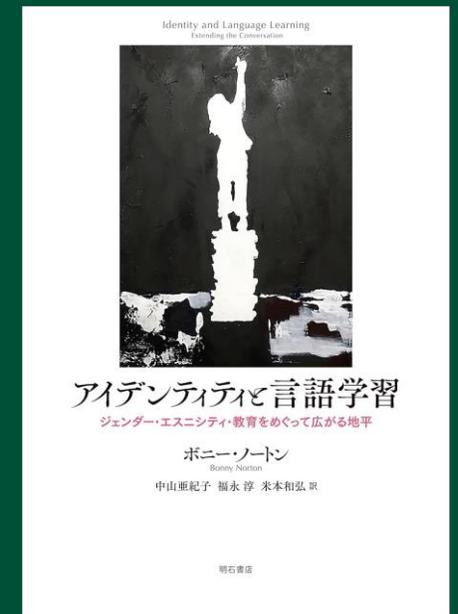
もっと考えたい方のために...



佐藤郡衛・菅原雅枝・小林聡子 (2024) 『子どももの日本語教育を問い直す——外国につながる子どもたちの学びを支えるために』明石書店



細川英雄 (2021) 『自分の〈ことば〉をつくる あなたにし
か語れないことを表現する技術』ディスカヴァー・トゥエン
ティワン



ボニー・ノートン (2023) 中
山亜紀子・福永淳・米本和弘
(訳) 『アイデンティティと言
語学習——ジェンダー・エス
ニシティ・教育をめぐる広が
る地平』明石書店 17

参考文献

- エリック・エリクソン (1968) 中島 由恵 (訳) (2017) 『アイデンティティ—青年と危機』新曜社
- 久保田竜子 (2015) 『グローバル化社会と言語教育 —クリティカルな視点から (久保田竜子著作選1)』くろしお出版
- 中央教育審議会 (2021) 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す, 個別最適な学びと, 協働的な学びの実現～(答申)」
- ボニー・ノートン (2013) 中山亜紀子・福永淳・米本和弘 (訳) (2023) 『アイデンティティと言語学習—ジェンダー・エスニシティ・教育をめぐる広がる地平』明石書店
- 文部科学省 (2023) 「教育振興基本計画」
- 米本和弘 (2008) 「中国帰国生徒の日本語学習への投資」畑佐由紀子 (編) 『外国語としての日本語教育—多角的視野に基づく試み—』(pp.231-246) くろしお出版
- 米本和弘 (2012) 「「中国に行く」/「中国に帰る」—言語マイノリティ生徒の想像の共同体—」細川英雄 (編) 『言語教育とアイデンティティ—ことばの教育実践とその可能性—』(pp. 98-116) 春風社
- セカイの日本語～みんなの声～ <https://sekainonihongo.com/>